

7月31日、午後1時、子ども議員15人と、市長、副市長、教育長、各部長らが席に着き、高谷知宏子ども議会議長（総社東中3年）の一声で子ども議会（本会議）は始まりました。

議会は、市民の意志を市政に反映させ、市の意志決定を行います。子ども議会は、模擬議会を体験することで、子どもたちに市政への理解と関心をもってもらおうと開かれたもの。そのため本会議は、議長が途中で交代するこ

まちづくりにと
子ども議員

熱弁

子ども議員15人による総社市子ども議会が7月31日、議場で開かれました。身近な課題やまちづくりなどを取り上げた一般質問では、熱い議論を展開。また、人と人との交流や多文化共生などからなる「総社市子ども議会宣言」を全会一致で採択しました。



会期は1日限りで、高谷さんと金珉柱さん（総社西中2年）の2人の議長が交代で議事を進行。議席の指定や会議録署名議員の指名を行った後、一般質問に市長や教育長が答弁に立ち、約3時間に及ぶ議論が展開されました。

子ども議員は、市内の中学校から選出された2、3年生15人。今年1月19日に委嘱されました。このときは、議会の仕組みや運営方法を学びました。乗田教育長からは、「すばらしい意見を期待しています。一生懸命勉強して、お互いががんばりましょう」と励ましの言葉もありました。

井戸垣隆寛さん（総社東中2年）は、「壇上で話すことにプレッシャーを感じますが、ともにスポーツをする仲間
の声を伝えたいです」と、体育施設の
使用料についての質問に意気込んでい
ました。

ん(総社西中2年)は、「食育の認知度の低さを具体的な数字で示して質問をしたいんです」と。当日は、そのデータを示すパワーポイントを使い一般質問をしました。

本会議が迫った7月10日、運営日程や一般質問の発言順を決めるため、市役所で総社市子ども議会全員協議会が開かれました。本会議で全会一致で採択された「総社市子ども議会宣言」。本会議で提案するとの決定も全員協議会でした。ここでも議会の運営に沿って、高谷さん、金さんの両議長が議事を進行しました。

15人は25項目について一般質問を市側に通告。「子ども条例」、「体育施設の使用料」、「いじめや不登校」、「学校の図書室の蔵書」、「食育」と、子育て王国そうじゃの推進に関連したものが全体の半分を占めています。ごみの減量化やポイ捨ての防止などの環境関係や、国際交流の課題を問う質問が複数の子ども議員からありました。